

高圧ガス関係事故集計
(平成30年12月末現在)

平成31年3月

**表 1 高圧ガス事故統計集計表
(平成30年12月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1月	87	65	92	101	122	76	76	53	68	74	65
2月	88	63	71	77	93	62	57	62	61	68	53
3月	175	128	163	178	215	138	133	115	129	142	118
4月	64	67	84	167	65	79	62	78	85	62	60
5月	239	195	247	345	280	217	195	193	214	204	178
6月	63	59	79	69	60	67	68	80	138	58	60
7月	302	254	326	414	340	284	263	273	352	262	238
8月	56	78	69	67	75	64	66	61	81	69	60
9月	358	332	395	481	415	348	329	334	433	331	298
10月	66	83	73	81	76	66	68	66	64	65	71
11月	424	415	468	562	491	414	397	400	497	396	369
12月	71	75	73	79	112	66	58	70	78	87	169
合計	495	490	541	641	603	480	455	470	575	483	538
対前年比 ^{〔注2〕}	15.2	0.8	12.9	12.2	▲ 11.5	▲ 12.3	▲ 5.4	▲ 3.9	24.3	▲ 13.5	1.8

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成30年のみ集計月までの増減分としている。

**表 1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】
(平成30年12月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1月	23	28	31	42	32	32	21	24	45	45	49
2月	31	21	24	27	42	31	32	27	37	44	37
3月	54	49	55	69	74	63	53	51	82	89	86
4月	25	21	25	105	26	31	32	46	45	41	44
5月	79	70	80	174	100	94	85	97	127	130	130
6月	20	20	32	33	33	27	36	47	47	38	52
7月	99	90	112	207	133	121	121	144	174	168	182
8月	29	29	25	33	41	32	31	41	61	45	59
9月	128	119	137	240	174	153	152	185	235	213	241
10月	34	41	40	44	42	35	35	47	42	50	69
11月	162	160	177	284	216	188	187	232	277	263	310
12月	40	33	33	41	41	37	31	49	55	58	99
合計	202	193	210	325	257	225	218	281	332	321	409
対前年比 ^{〔注2〕}	33	32	45	44	39	43	45	42	51	51	61
対前年比 ^{〔注2〕}	235	225	255	369	296	268	263	323	383	372	470
10月	33	23	57	33	34	22	35	20	50	42	51
11月	268	248	312	402	330	290	298	343	433	414	521
12月	24	28	43	28	37	43	27	39	58	54	65
合計	292	276	355	430	367	333	325	382	491	468	586
対前年比 ^{〔注2〕}	23	26	26	38	35	37	30	44	43	48	47
対前年比 ^{〔注2〕}	315	302	381	468	402	370	355	426	534	516	633
12月	35	25	25	22	27	25	34	37	45	52	46
合計	350	327	406	490	429	395	389	463	579	568	679
対前年比 ^{〔注2〕}	21.5	▲ 6.6	24.2	20.7	▲ 12.4	▲ 7.9	▲ 1.5	19.0	25.1	▲ 1.9	19.5

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第6条第1項第1号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成30年のみ集計月までの増減分としている。

表 1 - 2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

1. 年別及び月別事故 (累計) ^[注1]

年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1月	64	37	61	59	90	44	55	29	23	29	16
2月	57	42	47	50	51	31	25	35	24	24	16
3月	39	46	59	62	39	48	30	32	40	21	16
4月	43	39	47	36	27	40	32	33	91	20	8
5月	27	49	44	34	34	32	35	20	20	24	1
6月	32	42	33	37	34	31	33	19	22	15	2
7月	31	42	40	38	71	29	27	21	23	29	70
8月	28	39	42	33	25	30	37	12	33	17	5
9月	30	34	46	117	36	39	19	30	12	14	7
10月	51	39	44	56	40	40	33	29	30	17	9
11月	52	63	41	37	41	39	40	12	26	21	3
12月	44	56	55	34	41	42	40	29	27	23	5
合計	498	528	559	593	529	445	406	301	371	254	158
対前年比 ^[注2]	11.2	6.0	5.9	6.1	▲ 10.8	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 25.9	23.3	▲ 31.5	▲ 37.8

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

[注2] 対前年比の欄は、合計に対する増減分を表すが、平成30年のみ集計月までの増減分としている。

表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)
(平成30年12月末現在)

区分	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
製 造 事 業 所	冷 凍	148	140	193	272	(271) 271	(310)
	コンビナート	39	48	45	45	(44) 44	(86)
	L P	24	18	17	22	(12) 12	(33)
	一 般	82	72	81	127	(134) 134	(147)
	計	293	278	336	466	(461) 461	(576)
移 動	46	31	24	23	(19) 19	(21)	
消 費	488	479	380	445	(321) 321	(189)	
そ の 他	13	7	24	16	(21) 21	(51)	
合 計	840	795	764	950	(822) 822	(837)	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】
(平成30年12月末現在)

区分	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
製 造 事 業 所	冷 凍	148	140	193	272	(271) 271	(310)
	コンビナート	39	48	45	45	(44) 44	(86)
	L P	23	18	17	20	(11) 11	(28)
	一 般	81	72	81	126	(134) 134	(143)
	計	291	278	336	463	(460) 460	(567)
移 動	42	31	24	23	(18) 18	(19)	
消 費	52	73	83	80	(73) 73	(73)	
そ の 他	10	7	20	13	(17) 17	(20)	
合 計	395	389	463	579	(568) 568	(679)	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

区分	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
製 造 事 業 所	冷 凍	0	0	0	0	(0) 0	(0)
	コンビナート	0	0	0	0	(0) 0	(0)
	L P	1	0	0	2	(1) 1	(5)
	一 般	1	0	0	1	(0) 0	(4)
	計	2	0	0	3	(1) 1	(9)
移 動	4	0	0	0	(1) 1	(2)	
消 費	436	406	297	365	(248) 248	(116)	
そ の 他	3	0	4	3	(4) 4	(31)	
合 計	445	406	301	371	(254) 254	(158)	

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計																										
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計																								
平成30年	(31)	(66)	(41)	(138)	(116)	(17)	(34)	(44)	(47)	(12)	(270)	(4)	(10)	(0)	(14)	(58)	(15)	(73)	(88)	(20)	(170)	(64)	(342)	(837)																								
平成29年	(26)	26	(23)	23	(43)	43	(92)	92	(113)	113	(29)	29	(30)	30	(54)	54	(39)	39	(7)	7	(272)	272	(0)	0	(8)	8	(3)	3	(11)	11	(38)	38	(3)	3	(41)	41	(23)	23	(19)	19	(160)	160	(204)	204	(406)	406	(822)	822
平成28年		28	15	34	77	109	20	41	59	43	10	282	1	13	1	15	43	9	52	84	22	152	266	524	950																							
平成27年		54	10	24	88	93	31	17	31	29	21	222	3	6	1	10	42	6	48	8	17	96	275	396	764																							
平成26年		53	14	20	87	78	19	11	29	26	16	179	0	15	6	21	33	6	39	24	16	85	344	469	795																							
平成25年		38	14	23	75	80	28	16	23	33	20	200	0	15	1	16	51	3	54	7	18	58	412	495	840																							

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計																										
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計																								
平成30年	(31)	(66)	(41)	(138)	(116)	(17)	(34)	(44)	(47)	(12)	(270)	(4)	(10)	(0)	(14)	(58)	(15)	(73)	(17)	(20)	(147)	(0)	(184)	(679)																								
平成29年	(26)	26	(23)	23	(43)	43	(92)	92	(113)	113	(29)	29	(30)	30	(54)	54	(39)	39	(7)	7	(272)	272	(0)	0	(8)	8	(3)	3	(11)	11	(38)	38	(3)	3	(41)	41	(3)	3	(19)	19	(130)	130	(0)	0	(152)	152	(568)	568
平成28年		28	15	34	77	109	20	41	59	43	10	282	1	13	1	15	43	9	52	8	22	123	0	153	579																							
平成27年		54	10	24	88	93	31	17	31	29	21	222	3	6	1	10	42	6	48	4	17	74	0	95	463																							
平成26年		53	14	20	87	78	19	11	29	26	16	179	0	15	6	21	33	6	39	6	16	41	0	63	389																							
平成25年		38	14	23	75	80	28	16	23	33	20	200	0	15	1	16	51	3	54	3	18	29	0	50	395																							

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良			ヒューマンファクター			その他				合計										
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他		盗難	計								
平成30年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(71)	(0)	(23)	(64)	(158)	(158)								
平成29年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(20)	20	(0)	0	(30)	30	(204)	204	(254)	254	(254)	254
平成28年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	29	266	371	371								
平成27年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	22	275	301	301								
平成26年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	44	344	406	406								
平成25年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	29	412	445	445								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)

(平成30年12月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所	容器		その他	合計					
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所							
平成30年	(38)	(32)	(33)		(310)		(24)	(1)	(138)		(576)					
平成29年	(22)	22	(12)	12	(25)	25	(271)	271	(9)	9	(1)	1	(121)	121	(461)	461
平成28年		19		11		26		272		13		2		123		466
平成27年		16		10		21		193		8		0		88		336
平成26年		17		11		20		140		6		1		83		278
平成25年		16		8		15		148		9		0		97		293

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】

(平成30年12月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所	容器		その他	合計					
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所							
平成30年	(38)	(32)	(33)		(310)		(17)	(1)	(136)		(567)					
平成29年	(22)	22	(12)	12	(25)	25	(271)	271	(9)	9	(1)	1	(120)	120	(460)	460
平成28年		19		11		26		272		11		2		122		463
平成27年		16		10		21		193		8		0		88		336
平成26年		17		11		20		140		6		1		83		278
平成25年		16		8		15		148		8		0		96		291

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成30年12月末現在)

業種 年	石油		一般		冷凍		充填所	容器		その他	合計			
	精製	化学	化学	化学	事業所	事業所		検査所	検査所					
平成30年	(0)	(0)	(0)		(0)		(7)	(0)	(2)		(9)			
平成29年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1
平成28年		0		0		0		2		0		1		3
平成27年		0		0		0		0		0		0		0
平成26年		0		0		0		0		0		0		0
平成25年		0		0		0		1		0		1		2

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、 製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の 不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
平成30年	(30)	(65)	(41)	(136)	(113)	(17)	(24)	(37)	(46)	(3)	(240)	(3)	(7)	(0)	(10)	(40)	(3)	(43)	(16)	(1)	(130)	(0)	(147)	(576)																								
平成29年	(25)	25	(22)	22	(41)	41	(88)	88	(112)	112	(25)	25	(25)	25	(46)	46	(37)	37	(2)	2	(247)	247	(0)	0	(6)	6	(3)	3	(9)	9	(21)	21	(0)	0	(21)	21	(1)	1	(2)	2	(92)	92	(1)	1	(96)	96	(461)	461
平成28年	27	15	34	76	108	19	34	57	41	2	261	0	6	0	6	23	2	25	8	0	89	1	98	466																								
平成27年	50	8	21	79	89	30	6	29	28	6	188	2	2	0	4	16	3	19	2	1	43	0	46	336																								
平成26年	47	14	19	80	77	18	0	22	26	1	144	0	12	3	15	20	0	20	1	1	17	0	19	278																								
平成25年	36	13	22	71	75	27	0	21	30	3	156	0	8	2	10	31	0	31	2	0	21	2	25	293																								

表5-1 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、 製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の 不良				ヒューマンファクター			その他				合計																									
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																								
平成30年	(30)	(65)	(41)	(136)	(113)	(17)	(24)	(37)	(46)	(3)	(240)	(3)	(7)	(0)	(10)	(40)	(3)	(43)	(11)	(1)	(126)	(0)	(138)	(567)																								
平成29年	(25)	25	(22)	22	(41)	41	(88)	88	(112)	112	(25)	25	(25)	25	(46)	46	(37)	37	(2)	2	(247)	247	(0)	0	(6)	6	(3)	3	(9)	9	(21)	21	(0)	0	(21)	21	(1)	1	(2)	2	(92)	92	(0)	0	(95)	95	(460)	460
平成28年	27	15	34	76	108	19	34	57	41	2	261	0	6	0	6	23	2	25	7	0	88	0	95	463																								
平成27年	50	8	21	79	89	30	6	29	28	6	188	2	2	0	4	16	3	19	2	1	43	0	46	336																								
平成26年	47	14	19	80	77	18	0	22	26	1	144	0	12	3	15	20	0	20	1	1	17	0	19	278																								
平成25年	36	13	22	71	75	27	0	21	30	3	156	0	8	2	10	31	0	31	2	0	21	0	23	291																								

表5-2 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、 製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の 不良				ヒューマンファクター			その他				合計																			
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																		
平成30年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(0)	(4)	(0)	(9)	(9)																		
平成29年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	3																		
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																		
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2																		

表6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)
(平成30年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成30年	(8)	(4)	(9)	(21)
平成29年	(7) 7	(1) 1	(11) 11	(19) 19
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31
平成25年	27	0	19	46

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】
(平成30年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成30年	(8)	(2)	(9)	(19)
平成29年	(6) 6	(1) 1	(11) 11	(18) 18
平成28年	19	1	3	23
平成27年	16	0	8	24
平成26年	11	1	19	31
平成25年	24	0	18	42

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他 のガス	合計
平成30年	(0)	(2)	(0)	(2)
平成29年	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 1
平成28年	0	0	0	0
平成27年	0	0	0	0
平成26年	0	0	0	0
平成25年	3	0	1	4

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																
平成30年	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(1)	(4)	(0)	(8)	(4)	(0)	(12)	(21)																
平成29年	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(2)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	2	(2)	2	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(2)	2	(0)	0	(6)	6	(6)	6	(0)	0	(12)	12	(19)	19
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23															
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24																
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31																
平成25年	2	1	0	3	5	1	4	0	2	3	15	0	2	0	2	6	0	6	0	16	1	3	20	46																

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																
平成30年	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(1)	(4)	(0)	(8)	(2)	(0)	(10)	(19)																
平成29年	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(2)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	2	(2)	2	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(2)	2	(0)	0	(6)	6	(5)	5	(0)	0	(11)	11	(18)	18
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23															
平成27年	0	0	0	0	1	1	4	0	0	2	8	0	0	0	0	4	1	5	0	10	1	0	11	24																
平成26年	6	0	1	7	0	1	2	1	0	5	9	0	0	1	1	0	0	0	0	8	6	0	14	31																
平成25年	2	1	0	3	5	1	4	0	2	3	15	0	2	0	2	6	0	6	0	16	0	0	16	42																

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計													
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計												
平成30年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)	(2)												
平成29年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	4											

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 8 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)
(平成30年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成30年	(19)	(109)	(1)	(16)	(1)	(43)	(189)
平成29年	(28) 28	(258) 258	(1) 1	(12) 12	(0) 0	(22) 22	(321) 321
平成28年	34	376	1	13	1	20	445
平成27年	40	305	0	11	1	23	380
平成26年	46	404	1	15	1	12	479
平成25年	55	386	2	22	0	23	488

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【災害】
(平成30年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成30年	(10)	(33)	(1)	(9)	(1)	(19)	(73)
平成29年	(13) 13	(40) 40	(1) 1	(4) 4	(0) 0	(15) 15	(73) 73
平成28年	16	41	1	7	1	14	80
平成27年	21	39	0	4	1	18	83
平成26年	19	40	1	2	1	10	73
平成25年	10	26	2	3	0	11	52

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
平成30年	(9)	(76)	(0)	(7)	(0)	(24)	(116)
平成29年	(15) 15	(218) 218	(0) 0	(8) 8	(0) 0	(7) 7	(248) 248
平成28年	18	335	0	6	0	6	365
平成27年	19	266	0	7	0	5	297
平成26年	27	364	0	13	0	2	406
平成25年	45	360	0	19	0	12	436

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																					
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																				
平成30年	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(7)	(7)	(1)	(2)	(18)	(0)	(2)	(0)	(2)	(11)	(9)	(20)	(50)	(11)	(30)	(57)	(148)	(189)																				
平成29年	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(4)	4	(4)	4	(7)	7	(2)	2	(0)	0	(18)	18	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(12)	12	(1)	1	(13)	13	(22)	22	(11)	11	(52)	52	(202)	202	(287)	287	(321)	321
平成28年	1	0	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	76	12	51	264	403	445																			
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	6	6	42	273	327	380																				
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	23	7	60	345	435	479																				
平成25年	0	0	0	0	0	0	14	2	1	8	25	0	5	0	5	13	2	15	5	2	29	407	443	488																				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計																					
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計																				
平成30年	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(7)	(7)	(1)	(2)	(18)	(0)	(2)	(0)	(2)	(11)	(9)	(20)	(5)	(11)	(16)	(0)	(32)	(73)																				
平成29年	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(4)	4	(4)	4	(7)	7	(2)	2	(0)	0	(18)	18	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(12)	12	(1)	1	(13)	13	(2)	2	(11)	11	(26)	26	(0)	0	(39)	39	(73)	73
平成28年	1	0	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	1	12	25	0	38	80																			
平成27年	4	1	2	7	3	0	7	2	0	10	22	1	3	1	5	18	1	19	2	6	22	0	30	83																				
平成26年	0	0	0	0	1	0	7	6	0	8	22	0	3	1	4	13	5	18	5	7	17	0	29	73																				
平成25年	0	0	0	0	0	0	14	2	1	8	25	0	5	0	5	13	2	15	1	2	4	0	7	52																				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（平成30年12月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計							
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計						
平成30年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(45)	(0)	(14)	(57)	(116)	(116)						
平成29年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(20)	20	(0)	0	(26)	26	(202)	202	(248)	248	(248)	248
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	26	264	365	365						
平成27年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	20	273	297	297						
平成26年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	43	345	406	406						
平成25年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	25	407	436	436						

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)
(平成30年12月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計	
	年	処理中	くず化	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器
平成30年		(0)	(3)	(0)	(48)	(51)						
平成29年	(0)	0	(3)	3	(1)	1	(17)	17	(21)	21		
平成28年		0	1	1		14	16					
平成27年		0	0	0		24	24					
平成26年		0	3	0		4	7					
平成25年		0	0	3		10	13					

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】
(平成30年12月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計	
	年	処理中	くず化	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器
平成30年		(0)	(3)	(0)	(17)	(20)						
平成29年	(0)	0	(3)	3	(1)	1	(13)	13	(17)	17		
平成28年		0	1	1		11	13					
平成27年		0	0	0		20	20					
平成26年		0	3	0		4	7					
平成25年		0	0	3		7	10					

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

年	取扱状態		ごみ		容器等の		放 置		その他		合 計	
	年	処理中	くず化	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器	容器
平成30年			(0)		(31)	(31)						
平成29年			(0)	0	(4)	(4)	4					
平成28年			0		3	3						
平成27年			0		4	4						
平成26年			0		0	0						
平成25年			0		3	3						

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(平成30年12月末現在)

年 現象	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年					
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者			
爆 発	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(4)	4	(0)	0	(4)	4	(6)	(0)	(4)
火 災	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	5	(0)	0	(4)	4	(12)	(0)	(4)
噴出漏洩	366	2	29	352	2	59	421	2	44	536	1	35	(542)	542	(1)	1	(34)	34	(634)	(0)	(43)
破裂・破壊	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	10	(0)	0	(2)	2	(11)	(0)	(2)
そ の 他	450	0	8	408	1	8	309	0	10	380	2	0	(261)	261	(0)	0	(2)	2	(174)	(0)	(12)
合 計	840	2	44	795	3	73	764	2	68	950	4	51	(822)	822	(1)	1	(46)	46	(837)	(0)	(65)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(平成30年12月末現在)

年 現象	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年					
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者			
爆 発	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(4)	4	(0)	0	(4)	4	(6)	(0)	(4)
火 災	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	5	(0)	0	(4)	4	(12)	(0)	(4)
噴出漏洩	366	2	29	352	2	59	421	2	44	536	1	35	(542)	542	(1)	1	(34)	34	(634)	(0)	(43)
破裂・破壊	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	10	(0)	0	(2)	2	(11)	(0)	(2)
そ の 他	5	0	8	2	1	8	8	0	10	9	2	0	(7)	7	(0)	0	(2)	2	(16)	(0)	(12)
合 計	395	2	44	389	3	73	463	2	68	579	4	51	(568)	568	(1)	1	(46)	46	(679)	(0)	(65)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(平成30年12月末現在)

年 現象	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年					
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者			
爆 発																					
火 災																					
噴出漏洩																					
破裂・破壊																					
そ の 他	445	0	0	406	0	0	301	0	0	371	0	0	(254)	254	(0)	0	(0)	0	(158)	(0)	(0)
合 計	445	0	0	406	0	0	301	0	0	371	0	0	(254)	254	(0)	0	(0)	0	(158)	(0)	(0)

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

(平成30年12月末現在)

年 現象	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年						
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者				
爆 発	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(4)	4	(0)	0	(4)	4	(6)	(0)	(4)	
火 災	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	5	(0)	0	(4)	4	(12)	(0)	(4)	
漏 え い	漏えい①	176	0	4	171	0	2	220	0	4	244	0	2	(274)	274	(0)	0	(4)	4	(327)	(0)	(13)
	漏えい②	89	0	4	85	2	29	102	0	3	176	0	18	(160)	160	(0)	0	(10)	10	(198)	(0)	(11)
	漏えい③	101	2	21	96	0	28	99	2	37	116	1	15	(108)	108	(1)	1	(20)	20	(109)	(0)	(19)
計	366	2	29	352	2	59	421	2	44	536	1	35	(542)	542	(1)	1	(34)	34	(634)	(0)	(43)	
破裂・破壊	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	10	(0)	0	(2)	2	(11)	(0)	(2)	
そ の 他	450	0	8	408	1	8	309	0	10	380	2	0	(261)	261	(0)	0	(2)	2	(174)	(0)	(12)	
合 計	840	2	44	795	3	73	764	2	68	950	4	51	(822)	822	(1)	1	(46)	46	(837)	(0)	(65)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

(平成30年12月末現在)

年 現象	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年						
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者				
爆 発	4	0	2	3	0	1	7	0	5	7	0	6	(4)	4	(0)	0	(4)	4	(6)	(0)	(4)	
火 災	4	0	0	20	0	2	7	0	1	10	0	2	(5)	5	(0)	0	(4)	4	(12)	(0)	(4)	
漏 え い	漏えい①	176	0	4	171	0	2	220	0	4	244	0	2	(274)	274	(0)	0	(4)	4	(327)	(0)	(13)
	漏えい②	89	0	4	85	2	29	102	0	3	176	0	18	(160)	160	(0)	0	(10)	10	(198)	(0)	(11)
	漏えい③	101	2	21	96	0	28	99	2	37	116	1	15	(108)	108	(1)	1	(20)	20	(109)	(0)	(19)
計	366	2	29	352	2	59	421	2	44	536	1	35	(542)	542	(1)	1	(34)	34	(634)	(0)	(43)	
破裂・破壊	16	0	5	12	0	3	20	0	8	17	1	8	(10)	10	(0)	0	(2)	2	(11)	(0)	(2)	
そ の 他	5	0	8	2	1	8	8	0	10	9	2	0	(7)	7	(0)	0	(2)	2	(16)	(0)	(12)	
合 計	395	2	44	389	3	73	463	2	68	579	4	51	(568)	568	(1)	1	(46)	46	(679)	(0)	(65)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(平成30年12月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
平成30年	(44)	(0)	(11)	(54)	(65)
平成29年	(37) 37	(1) 1	(9) 9	(37) 37	(47) 47
平成28年	40	4	7	44	55
平成27年	50	2	12	56	70
平成26年	31	3	9	64	76
平成25年	36	2	10	34	46

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)
(平成30年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成30年	(0)	(17)	(820)	(837)
平成29年	(0) 0	(10) 10	(812) 812	(822) 822
平成28年	0	11	939	950
平成27年	0	41	723	764
平成26年	0	44	751	795
平成25年	0	43	797	840

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】
(平成30年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成30年	(0)	(17)	(662)	(679)
平成29年	(0) 0	(10) 10	(558) 558	(568) 568
平成28年	0	11	568	579
平成27年	0	41	422	463
平成26年	0	44	345	389
平成25年	0	43	352	395

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】
(平成30年12月末現在)

年 級	A級	B級	C級	合 計
平成30年	(0)	(0)	(158)	(158)
平成29年	(0) 0	(0) 0	(254) 254	(254) 254
平成28年	0	0	371	371
平成27年	0	0	301	301
平成26年	0	0	406	406
平成25年	0	0	445	445

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13 事故等級別事故発生件数

(平成30年12月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
平成30年	(0)	(2)	(15)		(113)	(707)	(837)
平成29年	(0) 0	(2) 2	(8) 8		(105) 105	(707) 707	(822) 822
平成28年	0	6	5		109	830	950
平成27年	0	5	36	723			764
平成26年	0	7	37	751			795
平成25年	0	4	39	797			840

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

〔注〕 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(平成30年12月末現在)

年	級 A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
平成30年	(0)	(2)	(15)		(113)	(549)	(679)
平成29年	(0) 0	(2) 2	(8) 8		(105) 105	(453) 453	(568) 568
平成28年	0	6	5		109	459	579
平成27年	0	5	36	422			463
平成26年	0	7	37	345			389
平成25年	0	4	39	352			395

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

〔注〕 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。